

○精神障害等級認定の目安 (『精神の障害に係る等級判定ガイドライン』より抜粋)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000130041.html>

程度	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
3.5以上	1級	1級又は2級			
3.0以上3.5未満	1級又は2級	2級	2級		
2.5以上3.0未満		2級	2級又は3級		
2.0以上2.5未満		2級	2級又は3級	3級又は3級非該当	
1.5以上2.0未満			3級	3級又は3級非該当	
1.5未満				3級非該当	3級非該当

1. 「程度」は診断書裏面の記載事項の「日常生活能力の程度」の5段階評価です。
2. 「判定程度」は、診断書の記載事項の「日常生活能職の判定」の4段階評価について程度の軽いほうから1～4の数値に置き換え、その平均を算出(小数点2以下は切捨て)したものです。
3. 表内の「3級」は、障害基礎年金の場合は「2級非該当」と置き換えます。

<診断書記載の具体例>

<p>ウ 日常生活状況</p> <p>1 家庭及び社会生活についての具体的な状況 (ア) 現在の生活環境(該当するもの一つを選んでチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 入所 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input type="checkbox"/> その他() (施設名) 同居者の有無(<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)</p> <p>(イ) 全般的状況(家族及び家族以外の者との対人関係についても具体的に記入してください。) [家族や隣近所のおける少人数の友人とは良好な関係があるが、不特定多数の人間との状況は悪くない]</p> <p>2 日常生活能力の判定(該当するものにチェックしてください。) (判断にあたっては、患者で生活するとしたら可能かどうかで判断してください。)</p> <p>(1) 適切な食事 - 配膳などの準備も含めて適量食をバランスよく摂ることが出来るなど。 <input type="checkbox"/> 出来る <input type="checkbox"/> 出来ない 自発的かつ適正に行うことは出来るが、 には助言や指導を必要とする <input checked="" type="checkbox"/> とは出来ないが助言や指導があれば出来る <input type="checkbox"/> 出来ない</p> <p>(2) 身の清潔保持 - 洗面、夜尿、入浴等の身の衛生保持や着替え等ができる。また、自発的かつ適正に行うことが出来る。 <input type="checkbox"/> 出来る <input type="checkbox"/> 出来ない 自発的かつ適正に行うことは出来るが、 には助言や指導を必要とする <input checked="" type="checkbox"/> とは出来ないが助言や指導があれば出来る <input type="checkbox"/> 出来ない</p> <p>(3) 金銭管理と買い物 - 金銭を適度に管理し、やりくりが出来る。また、一人で買い物が可能であり、計画的な買い物が出来る。 <input type="checkbox"/> 出来る <input type="checkbox"/> 出来ない おおむね出来るが、 には助言や指導を必要とする <input checked="" type="checkbox"/> 助言や指導があれば出来る <input type="checkbox"/> 出来ない</p> <p>(4) 通院と服薬(<input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要) - 定期的に通院や服薬を行い、病状等を主治医に伝えることが出来る。 <input type="checkbox"/> 出来る <input checked="" type="checkbox"/> 出来ない おおむね出来るが、 には助言や指導を必要とする <input checked="" type="checkbox"/> 助言や指導があれば出来る <input type="checkbox"/> 出来ない</p> <p>(5) 他人との意思伝達及び対人関係 - 他人の話を聞く、自分の意思を相手に伝える、集団的行動が行えるなど。 <input type="checkbox"/> 出来る <input type="checkbox"/> 出来ない おおむね出来るが、 には助言や指導を必要とする <input checked="" type="checkbox"/> 助言や指導があれば出来る <input type="checkbox"/> 出来ない</p> <p>(6) 身の安全保持及び危険対応 - 事故等の危険から身を守る能力がある。通常と異なる事態となった時に他人に援助を求めるなどを求めて、適正に対応することが出来る。 <input type="checkbox"/> 出来る <input type="checkbox"/> 出来ない おおむね出来るが、 には助言や指導を必要とする <input checked="" type="checkbox"/> 助言や指導があれば出来る <input type="checkbox"/> 出来ない</p> <p>(7) 社会性 - 銀行での金銭の出し入れや公共施設等の利用が一人で可能。また、社会生活に必要な手帳が行えるなど。 <input type="checkbox"/> 出来る <input type="checkbox"/> 出来ない おおむね出来るが、 には助言や指導を必要とする <input checked="" type="checkbox"/> 助言や指導があれば出来る <input type="checkbox"/> 出来ない</p> <p>エ 精神障害の臨床状況</p>	<p>3 日常生活能力の程度(該当するもの一つにチェックしてください。) ※日常生活能力の程度を記載する際には、状態をもっとも適切に認識できる(精神障害)又は(知的障害)のどちらかを使用してください。</p> <p>(精神障害) <input type="checkbox"/> (1) 精神障害(病的体験・残遺症状・認知障害・性格変化等)を認めるが、社会生活は普通である。 <input type="checkbox"/> (2) 精神障害を認め、家庭内での日常生活は普通であるが、社会生活には、援助が必要である。 (たとえば、日常的な家事をこなすことはできるが、状況や季節が変化したりすると困難を生じることがある。社会行動や自発的な行動が適切に出来ないこともある。金銭管理はおおむね出来る場合など。) <input type="checkbox"/> (3) 精神障害を認め、家庭内での単純な日常生活はできるが、時に応じて援助が必要である。 (たとえば、習慣化した外出はできるが、家事をこなすために助言や指導を必要とする。社会的な対人交流は乏しく、自発的な行動に困難がある。金銭管理が困難な場合など。) <input checked="" type="checkbox"/> (4) 精神障害を認め、日常生活における身のまわりのことも、多くの援助が必要である。 (たとえば、着しく適正を欠く行動が見受けられる。自発的な発言が少ない、あっても発言内容が不適切であったり不明瞭であったりする。金銭管理ができない場合など。) <input type="checkbox"/> (5) 精神障害を認め、身のまわりのこともほとんどできないため、常時の援助が必要である。 (たとえば、家庭内生活においても、食事や身のまわりのことを自発的にすることができない。また、在宅の場合に通院等の外出には、付き添いが必要な場合など。)</p> <p>(知的障害) <input type="checkbox"/> (1) 知的障害を認めるが、社会生活は普通である。 <input type="checkbox"/> (2) 知的障害を認め、家庭内での日常生活は普通であるが、社会生活には、援助が必要である。 (たとえば、簡単な漢字は読み書きができ、会話を意思の疎通が可能であるが、抽象的なことは難しい。身辺生活も一人でできる程度) <input type="checkbox"/> (3) 知的障害を認め、家庭内での単純な日常生活はできるが、時に応じて援助が必要である。 (たとえば、ごく簡単な読み書きや計算はでき、助言などがあれば作業は可能である。具体的指示であれば理解ができ、身辺生活についてもおおむね一人でできる程度) <input type="checkbox"/> (4) 知的障害を認め、日常生活における身のまわりのことも、多くの援助が必要である。 (たとえば、簡単な文字や数字は理解でき、保護的環境であれば単純作業は可能である。習慣化していることであれば音楽での指示を理解し、身辺生活についても部分的にできる程度) <input type="checkbox"/> (5) 知的障害を認め、身のまわりのこともほとんどできないため、常時の援助が必要である。 (たとえば、文字や数字の理解力がほとんど無く、簡単な平仮名もできない。言葉による意思の疎通がほとんど不可能であり、身辺生活の処理も一人でできない程度)</p> <p>オ 身体障害(神経学的な障害を指す。)</p>
--	--

《考え方》

日常生活能力の程度は4 日常生活能力の判定は (3+3+3+2+3+3+4) ÷ 7項目 = 平均3
 障害等級の目安の表に照らし合わせると、おおよそ2級目安であると判断することができる。